

進路だより

発行：平成26年6月16日

1 第4回 分野別リレー講義について

6月9日(月)に第4回分野別リレー講義が実施されました。この行事は、Kobeプロジェクトのキャリア学習の一環として実施され、1～3年生にかけて行う、インターンシップ学習(KUトライやる)、3・4年生に実施する神戸大学dayからさらに発展したものです。対象は5・6年生で大学の先生方の講義を受講し、さらにじっくり協議することで、将来の進路希望について見つめ直し、より具体的なイメージを持てる機会となります。また、Kobeプロジェクトで取り組んでいる卒業研究をより学術的に高めるきっかけにもなります。



第4回として神戸大学大学院総合人間科学研究科を卒業され、現在、同志社大学文化情報学部文化情報学科で勤務されている阪田真己子准教授に「感性を科学する～あの子のどこが好きなのですか～」というテーマ講義していただきました。講義では、密かに思いを寄せる異性やあこがれのアイドルの「どこ」が好きなのかに着目し、私たちが人やモノに対して抱く「好き」という気持ちが絶対的なものではなく、実は「好き」とか「良い」と思う気持ちは、自分の気づかないうちに決定づけられていることがあるということ学びました。私たちがヒトやモノ

に対して抱いている価値や意味が一体何によって規定されているか、ということについて感性科学の観点から解説していただきました。今回参加した11名の生徒も熱心に参加し、有意義な時間となりました。次回は神戸大学大学院人間発達環境学研究所の先生の予定です。

参加生徒の感想を掲載します。

① 今回の講義内容について、これまでの自分の意見と違っていった点、賛成できる点、今後の参考になった点。

今まで、人気のあるキャラクターや人気のある人には、それ自体に何かすごく魅力があり、その何らかの魅力に人は惹かれているのだと思っていたけど、実際にはそれだけではなく、無意識に他人の行動に影響を受けていたということを知り、驚きました。

サブタイトルにもあったように、なぜ、自分が、人であれ、ものであれ、好きになるのかということに興味があり、頻繁に考えていました。その考えている思考回路が明確になったと思います。

今まで、「バランスの取れたもの」が、人々に一番好まれると思っていたが、デフォルメされた方が人々の心に残りやすいと知り衝撃を受けた。また、単純接触効果や同調効果などは、自分の身に覚えがあるようなことだったので、非常に納得した。

自分の現在の専門である数理生物学にも関わる内容で、非常に興味深かった。ダーウィンの『種の起源』にも考察されている性選択的進化に対する心理学的解釈が、生物学的解釈とは少し違ったアプローチで面白かった。

<p>人が物に対して“好き・嫌い”といった感情を抱くとき、そのほとんどは他者からの影響を受けている、つまり自分が本当にそれが好きかどうか、曖昧であることには共感できる。無意識のうちにそのような、少しいい加減な判断をしていたと思うと、他人の影響力は凄まじいと改めて思った。しかし、自分の考えをもっていなければ、ただ流されるだけの人間になってしまうので怖いとも思った。</p>
<p>今まで、眼が大きいキャラクターが好まれるのは、赤ちゃんに似ていて愛情を向けやすいからだと思っていたけれど、キャラクターにかかわらず、積極的な物を選びやすいからということを知った。最初の方に学んだ、眼の大きさの違う八重さんを、講義を聞く前後で見ると確かにより眼の大きい方がかわいらしく見えた。「頂点移動」を知っているかどうかで意見が変わる一例だと思った。</p>
<p>私も好きなアイドルがいるので、明日からまた見方が変わってくるなと思いました。感性は人の心に関係しているから、規則などはあまり関係ないように思うけれど、データサイエンスなど、きちんと解析できたりするのが面白かったです。</p>
<p>今回の講義では「好き」とは何かについて教えていただきました。今まで、「好き」は突然生まれてくる感情だと思っていましたが、実は様々な要因が作用して生まれてくるということを知り、大変驚きました。</p>

②講義をふまえた、今後の進路希望実現に向けての意気込み。

<p>私は心理学に興味があったので、今回の講義はとても面白かったです。将来、人と関わる仕事がしたいのですが、今回教わったことを活かしていきたいと思います。</p>
<p>今回の講義の内容はとても興味深く、以前に読んだ心理学の本に類似するところもあり、楽しく受けることができました。自分の志望する進路と直接的に関わることはないかもしれませんが、これからの生活でまた、このようなことをじっくり考える時間を取りたいと思います。</p>
<p>本日はありがとうございました。先生の話し方や用意された資料の影響もあるとは思いますが、今回の講義を通じて、同志社大学文化情報学部に変な魅力を感じました。この講義で自分の進路の選択肢がまた一つ増えました。今日はありがとうございました。</p>
<p>私は理系進学を希望していますが、哲学や統計学などにも興味があります。だから「データサイエンス」という、人の感情の傾向を分析し、商品開発などに活かすという分野に興味を持ちました。大学では、専門的なことをするか、学際的なことをするか迷っていますが、先生が「文系分野に強い理系（逆も然り）は強い」とおっしゃっていたように、幅広い教養を持った人になりたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>進路の選択肢にデータサイエンスが加わった。抽象的な事象を具体的な数学を用いたアプローチを通し扱うのは面白かった。どのような進路を選んだ場合にも、今回の講義が活かされると思う。</p>
<p>人の気持ちや感性は多くの要因によって影響され、移ろいやすいことが分かった。また、人々の行動やその傾向を見て、商品開発をしたり、商品の陳列を変えたりしているということは知っていたが、それは何か1つの学問から成り立っているのではなく、文系理系の壁を越えた、多様なものから作り上げられていることを知り驚いた。</p>
<p>初めて、分野別リレー講義に参加したのですが、大学の講義を聞いているように思えて、すごく勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>私の将来の夢は教員であって、教員は人に関わる仕事だと思います。良い教員の条件として、生徒の心をつかむのが大切だと思います。今回の講義で人の感性には法則があると知ったので、大学に入ったらその法則についても学び、良い教員になりたいと思います。今回はありがとうございました。</p>